

EV・ITS スマートタウン新上五島町プロジェクト

施策のポイント

EV（電気自動車）とITS（高度道路交通システム）が連動した未来型ドライブ観光システムの実現に取り組み、この事業を日本規格や世界標準にすること及びEV密度（人口千人当たり）日本一を目指している。

自治体情報

長崎県新上五島町

人口 / 23,210人

標準財政規模 / 12,157,856千円

担当課 産業再生推進本部

電話番号 直通0959-53-1164 代表0959-53-1111 内線312

実施主体 新上五島町EV・ITS実配備促進協議会

関連ホームページ

事業期間 平成21年度から平成25年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ⑤

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

地球温暖化防止と化石燃料からの脱却、脱炭素社会の実現を目指し、新エネルギービジョンを策定。また、ガソリンが全国一ともいわれる高価格であることも踏まえ、新エネルギーへの転換及びCO₂削減を図るため、電気自動車（EV）等の導入を推進し、地球環境にやさしいエコアイランドとしてPRしていくとともに、観光振興、地域活性化及び教会群の世界遺産登録を推進する。

2 取り組みの具体的内容

県・五島市と共同して、五島地域にEVとITSが連動した未来型ドライブ観光システムの導入・普及の促進を図る。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

観光振興、地域活性化及び教会群の世界遺産登録を推進するとともに、この事業を日本規格や世界標準にすること及びEV密度（人口千人当たり）日本一を目指す。2013年までに新上五島町に100台（五島地域合計280台）のEVを、県内では500台のEVの導入を目指す。

4 現在までの実績・成果

平成21年度に新上五島町に35台（五島地域合計100台）のEVを導入。
急速充電器3箇所（6基）整備。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

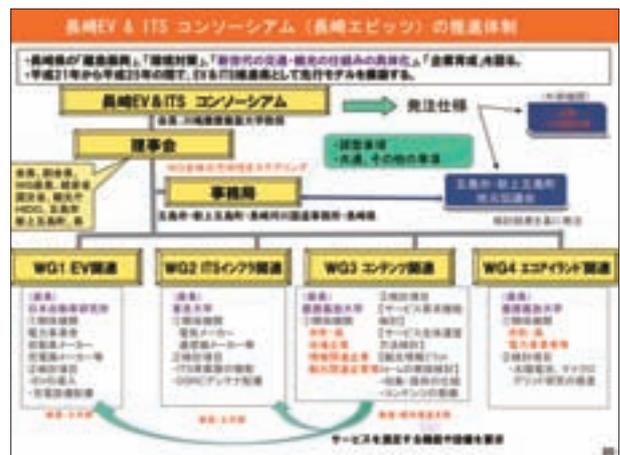
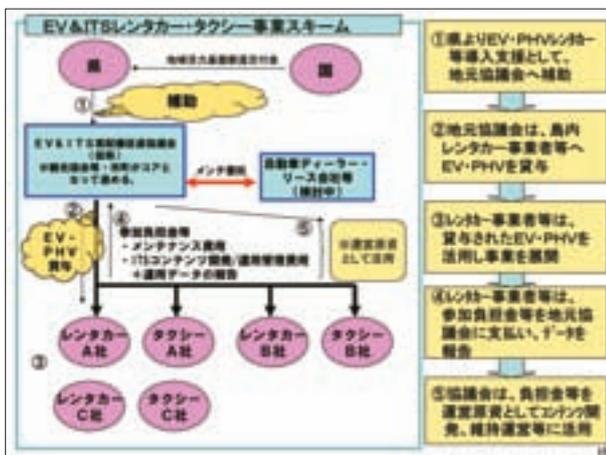
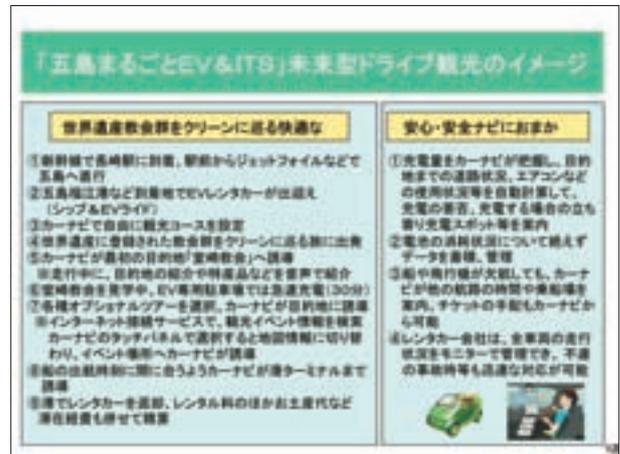
この事業は、前述のとおり日本規格や世界標準とすることを目的とした国内初の試みであり、参考とすべき事例もないため、まさに暗中模索、手探りの状態で事業に取り組まざるを得ない状況にあったが、県や県内企業はもとより全国的な主要企業なども加入するコンソーシアムを設立し、ワーキンググループにおいて協議・検討を加えながら事業の遂行にあっている。

また、地元事業者の本事業への理解と賛同を得ることも必須の条件であり、加えて、事業者の経営体力等も考慮しての事業提案、実施が求められた。

6 今後の展開と課題

現在、ITS への観光コンテンツの作りこみや DSRC ビーコンの設置に取り組んでいるが、急速充電器も含め、これらのネットワーク化や保守・維持管理、運営等の形態について、永続的な事業実施、展開が図れるような制度を構築していく必要がある。

また、本事業の推進により当初の目的である地球環境問題、観光振興、地域活性化及び教会群の世界遺産への登録に寄与するものとしなければならない。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計	財源内訳（財源区分：①～⑤）				
	①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
234,462千円	0千円	233,983千円	0千円	0千円	479千円
①～④の名称、 所管など	名称	長崎EV・ITSプロジェクト 推進事業費補助金			新上五島町EV・ITS 美配備促進協議会 運営費分
	所管	新産業創造課			
	金額	233,983千円			
	補助率	100%			